（様式1）産学官共同創薬研究プロジェクト（若手育成枠）

**日本医療研究開発機構　創薬基盤推進研究事業**

**研究開発提案書**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 研究開発課題名  （英語表記） | | 日本語表記 | ○○に関する研究開発 |
| 英語表記 | Study of ○○  ■ ２つの研究領域から選択可能ですので、 該当しない研究領域は削除してください。 |
| 公募名（事業名） | | | 産学官共同認知症克服創薬技術創出研究プロジェクト（認知症克服プロジェクト）（創薬基盤推進研究事業） |
| 研究領域 | | | 産学官共同mission-oriented (MO) 型創薬技術研究プロジェクト（GAPFREE7.2）  ■全研究期間は最長５年間ですが、適切な期間を設定ください。  （間接経費含めない）  産学官共同認知症克服創薬技術創出研究プロジェクト（認知症克服プロジェクト） |
| 研究開発期間（全研究期間） | | | 令和6年12月 日 ～ 令和XX年 3月31日（X年間） |
| 研究費総額 | | | 全研究期間でのAMED拠出分研究費総額（　XX0,000千円） |
| ヒト全ゲノムシークエンス解析 | | | □実施する 　　□実施しない  ■AMED拠出分研究費の直接経費を記入ください。（間接経費は含めない）  ※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出。 |
| 若手育成枠の確認 | | | ※１２.【若手育成枠】の要件のチェックし、確認した場合に☑ |
| 研究開発代表者 | 氏　名 | フリガナ | ○○○○　○○○○ |
| 漢　字 | ○○　　　○○ |
| ローマ字表記 | Yyyy Yyyyyy |
| 生年月（年齢） | | 19XX年XX月（XX歳：令和6年4月1日時点） |
| 所属機関（正式名称） | | ○○法人○○大学 |
| 所属部署（部局） | | ○○学部○○学科 |
| 役　職 | | ○○ |
| 研究開発代表者の連絡先 | E-mail | YYY@YY.jp |
| 電話番号 | XX-XXXX-XXXX |
| 研究開発代表者の情報 | | <https://www>.・・・・・・ |
| 研究開発代表者の研究歴  （主な職歴と研究内容） | | |  |

注 提出する際には、青文字の記載例と緑色吹き出しの説明文を削除してください。

**要　約**

■ 概要など、e-Radと提案書で重複がある項目は、提案時にe-Radに記入されている必要はありません。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

■ A4縦1ページ以内

■ **研究の目的**、**目標達成に向けての取り組み**、**期待される成果等を含む研究提案内容**が簡潔に把握出来るように、概要を記載してください。

# １．研究の背景・目的

■「１．研究の背景・目的」は、3ページ以内を目途に記載してください。

■ 事業及び公募課題の趣旨を踏まえて、  
**背景**（今の状況がどのようで、何が求められて、どこまで進んでいるのか）  
**目的**（背景を受け、どのような産学官連携の元で実施する本課題の目的）を  
具体的かつ明確に、評価者が理解しやすいように、記載してください。

■ 若手研究者が研究開発代表者となって主体的に研究をリードする独立性・自律性や、従来の研究手法にとらわれない若手研究者らしい独創的な発想・視点について、意欲的にアピールして記載ください。

■ 必要があれば、図や表を用いても構いません。

■ 産学官共同創薬研究プロジェクト（GAPFREE）の仕組みを活用した企業とアカデミアのマッチングによる創薬研究を提案する理由や必要性、メリット等についても言及してください。

■ 設定した課題とゴール（到達目標）を解決するための当該研究計画の重要性・必要性が明らかとなるよう、取り組むべきニーズを含め社会的、経済的、産業的要請や科学技術上の必要性等、当該分野や関連分野の動向も適宜含めて記載してください。

■ 当該研究計画に関して、現在までに行った研究等、研究の最終的な目標を達成するのに必要な他の研究計画、公共研究及び民間研究と当該研究計画の関係を明確にしてください。

■ 当該研究の特色・独創的な点については、国内・国外の他の研究でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを踏まえて記入してください。エビデンス（８．研究業績に記載の文献等も引用）も適宜用いて、記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# ２．研究計画・方法

■「２．研究計画・方法」は、3ページ以内を目途に記載してください。

■「１．研究の背景・目的」に記載の内容を達成するため、研究期間内に何をどこまで明らかにするか（どのような産学官連携の元で、どのような研究手法を用いて、どのように研究を実施して課題解決を行うのか）を具体的な研究計画として記載してください。

■ 企業が参画する目的（意向）への対応について、どのような対応を実施するのかを適宜記載ください。

## 【全体構想】

■【**全体構想**】には、ゴール（到達目標）を達成するため、本研究期間内を通しての全体計画を記載し、その全体計画を年度毎に落とし込んだ毎年度毎の年度計画とマイルストーン（最終目標を達成するための節目となる目標・到達点・達成事項）が分かるように記載ください。

■ 全研究期間は最長５年度間ですが、「６．研究開発の主なスケジュール」と合わせて適切な期間を設定し、計画計画を記載ください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

令和６年度：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

令和７年度：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

令和８年度：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

令和９年度：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

令和１０年度：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

**【参画企業について】**

■【**参画企業について**】は、参画する目的（参画企業が当該研究を通して期待する成果や共同研究内容も含む意向）及び参画企業の役割・連携関係が分かるように記載してください。

■ 企業の参画の詳細は未定だが企業の参画合意が得られている段階であれば、その旨が分かるように記載し、提案時点での内容を記載ください。

■ 加えて、マッチングスキームを活用して、参画する企業の募集をさらに行う場合も、想定する内容を記載ください。

企業名：〇〇　〇〇

参画目的及び役割：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

企業名：企業Ａ社（仮）

参画目的及び役割：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

## 【研究開発項目別の研究内容】

■【**研究開発項目別の研究内容**】は、「６．研究開発の主なスケジュール」と整合性を取り、**各研究開発項目毎**の目的、研究内容を記載し、マイルストーン（最終目標を達成するための節目となる目標・到達点・達成事項）をその達成時期とともに記載ください。

■ 研究計画を遂行するため、**各研究開発項目毎**の研究担当者を記載し、「研究開発代表者」、「研究開発分担者」及び「参画企業等の研究協力者」等の具体的な役割を分かるように記載してください。

■ 研究開発代表者以外の研究開発分担者・参加者が若手研究者である必要はないが、若手育成枠であることを理解し、研究開発代表者が主体的にチームビルディングとリーダーシップを発揮し研究を推進できるよう、研究開発代表者所属機関等でどのような協力・支援体制が構築されているかついても言及してください。

（例）

（１）●●の最適化検討（研究担当者：○○大学・〇〇、□□大学・□□、株式会社△△・△△）

目的及び研究内容：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

1. ○○評価技術の確立（研究担当者：○○大学・〇〇）

研究内容：

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

マイルストーン（達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項・達成される時期）：

（例）令和6年度○Qまでに、○○を完了し、○○を取得する。

令和７年度○Qまでに、○○に到達し、○○を構築する。

■ 具体的な成果や目指す姿、水準を明記してください。「～を検討する」「～を実施する」「～を評価する」のような記載は適切ではありません。  
例えば「最適化検討」の場合、最適化した結果として何ができるようになることを目指すかを記載してください。

（以下略）

# ３．研究の将来展望

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

■ 本研究開発構想が達成された場合に期待される将来展望（研究開発成果によってもたらされるアウトカム、波及効果、インパクト及びその意義等）、社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出等について、想定し得る範囲で記述してください。

# ４．研究開発代表者及び研究開発分担者に関する情報

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属機関※1 | 現在の専門 | 令和6年度  研究経費※２  （千円） | エフォート  （％） |
| 生年月（年齢:令和6年4月1日時点） | 所属部署（部局）※1 | 学位（最終学歴）  学位取得年 |
| e-Rad課題ID番号 | 役職※1 | 役割分担 |
| 研究開発代表者 | ○○　○○ | ○○○○大学 | △△△ | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | △△△学部△△△学科 | △△博士（○○大学）H14年 |
| 123456789 | △△△ | 研究の統括 |
|  |  | （主たる研究場所）※1  △□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 | □□　○○ | △□大学 | □○□ | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△学部△△△学科 | ○○博士（□△大学）  H15年 |
| 987654321 | □□□ | データの解析 |
|  |  | （主たる研究場所）※1  △□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 研究開発分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計　2名 | | | 研究開発経費合計 | X,XXX |  |

※1　所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※2　研究経費については、直接経費を記載してください。

# ５．実施体制図

■ 代表研究機関、分担研究機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

■ 下記の図は例示ですので、参考に作成ください。提案書作成時には削除のうえ、適切なソフトで作られた体制図を下に貼り付けてください。

【体制図記載例】

角丸四角形：大学等

楕円：企業

長方形：AMED

点線矢印：契約

二重矢印線：試料・情報等のやり取り、

分担

AMED

研究開発代表者

所属（及び主たる研究場所）

氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

試料の提供

加工

データ

提供

研究開発分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

研究開発分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

# ６．研究開発の主なスケジュール

■ 全研究期間は最長５年度間ですが、適切な期間を設定し、計画スケジュールを策定ください。

■ **研究開発項目**は「２．研究計画・方法」の**【研究開発項目別の研究内容】**と一致させてください。

■ 目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。

※マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項

■ 項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。

※１頁以内で記載してください。

■ 連続性のある研究項目間については、関係性を簡潔に記載ください。

■ 別途で作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。なお、PDF化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF化後に必ずご確認ください。

## 研究開発の主なスケジュール（ロードマップ）　以下記載例

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究開発項目 | 担当者  氏名 | 第1年度  (R6年度) | | 第2年度  (R7年度) | | 第3年度  (R8年度)  マイルストーン：○○○○○○○○  ▼ | | 第4年度  (R9年度) | | 第5年度  (R10年度) | |
| （1）●●の最適化検討  ・〇〇評価技術の確立  ・最適化検討  ・汎用化検討 | 〇〇〇〇  〇〇〇〇  □□□□ | ○○を最適化し、△△の解明のため  次のステップで活用 |  |  |  |  | マイルストーン：○○○○○○○○  ▼ | マイルストーン：○○○○○○○○  ▼ |  |  |  |
| （2）〇〇病態解析検討  ・◆◆◆◆◆◆◆  ・●●●●●●● | □□□□  □□□□ |  |  |  |  |  |  |  | ▲  マイルストーン：○○○○○○○○ |  |  |
| （3）〇〇○○検討  ・◆◆◆◆◆◆◆  ・●●●●●●● | 〇〇〇〇  □□□□ |  |  |  |  |  | ○○を解明し、△△のため  次のステップで活用 |  |  |  | ▲  マイルストーン：○○○○○○○○ |

# ７．各年度別経費内訳　　注）AMED拠出分と参画企業拠出分を分けて記載ください。

**【AMED拠出分の各年度別経費内訳】**

　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | | 中項目 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | 計 |
| 直  接  経  費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 小計 | |  |  |  |  |  |  |
| 間接経費（上記経費の30%目安） | | |  |  |  |  |  |  |
| 合計 | | |  |  |  |  |  |  |

**【企業拠出分の各年度別経費内訳】**

　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | | 中項目 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | 計 |
| 直  接  経  費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費  ・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 小計 | |  |  |  |  |  |  |
| 間接経費※ | | |  |  |  |  |  |  |
| 合計 | | |  |  |  |  |  |  |

※　参画企業拠出分には間接経費はありません。

**【AMED拠出分と参画企業拠出分の内訳】**

（単位：千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究経費※1 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | 合計 |
| AMED拠出分 | X0,000 | X0,000 | X0,000 | X0,000 | X0,000 | XXX,000 |
| 参画企業拠出分※2 | 全体額※3 | X0,000 | X0,000 | X0,000 | X0,000 | XXX,000 |
| うちPIK分 | Y,000 | Y,000 | Y,000 | Y,000 | YY,000 |
| 合計 | X0,000 | Z0,000 | Z0,000 | Z0,000 | Z0,000 | ZZZ,000 |

※1　研究経費については、直接経費を記載してください。

※2　Payment-in-kind (PIK)を取り入れる場合、全体額（PIK分を含んだ額）とPIK分を記載してください。

※3　参画企業拠出分の内訳で、参画企業との合意前など、参画企業の拠出する研究費が確定していない場合でも、下表で記載した仮の金額の合計額を記載ください。

**【参画企業拠出分の内訳】**（単位:千円）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 参画企業 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | R9年度 | R10年度 | 合計 |
| ○○製薬会社 |  |  |  |  |  |  |
| 企業Ａ社（仮） |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |

※ 各参画企業が拠出する研究費の按分については、参画企業間で合意の上、記載ください。

※ 参画企業の拠出する研究費が確定していない場合は、想定されている仮の金額を記載し、参画企業名は例の2段目の企業でも問題ありません。その場合、同意書に代えて提出する「合意形成の進捗状況や参画確定予定時期等が分かる資料」にその旨を記載ください。

**２）直接経費の具体的な使用目的**

■「７.各年度別経費内訳」の各項目の主な使用目的について、例示を参考に簡潔かつ具体的に記載ください。

■ 拠出予算が分かるように、AMED拠出分と参画企業拠出分とを分けて記載ください。

（１．物品費）

AMED拠出分

・研究開発項目（１）の○○研究における△△に用いる□□の購入：●●千円（R6）

参画企業拠出分

・研究開発項目（２）の○○研究における△△に用いる□□の購入：●●千円（R7）

（２．旅費）

AMED拠出分

・R7 年度○○学会における成果発表および情報収集のための旅費

（研究開発代表者他□名、出張先国名 都市名（米国□□））：●●千円

参画企業拠出分

・R10 年度○○学会における成果発表および情報収集のための旅費

（研究開発代表者他□名、出張先国名 都市名（米国□□））：●●千円

（３．人件費・謝金）

AMED拠出分

・研究開発項目（１）の○○研究における分析を実施するために雇用する人件費：●●千円（R6～R10）

・研究開発項目（２）の○○研究における□□への謝金：●●千円（R8～R10）

参画企業拠出分

・研究開発項目（３）の○○研究における生物評価を実施するために雇用する人件費：●●千円（R6～R10）

（４．その他）

AMED拠出分

・研究開発項目（２）の○○研究における△△分析／□□作成のための外注費：●●千円（R6～R10）

参画企業拠出分

・研究開発項目（３）の○○研究における生物評価実施のための外注費：●●千円（R6～R10）

# ８．研究業績

■「研究開発代表者」及び「研究開発分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（概ね一人につき5～10編程度）を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「●」を付してください。

■ 特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。

## （1）研究開発代表者　○○　○○

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic…, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

○○○○○○ガイドライン（○○学会編　XXXX年）

## （2）研究開発分担者　○○　○○

＜論文・著書＞

●M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis…………, Nature, 2020,12,32-40

M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria………, Nature, 2019,10,45-54

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquel

# ９．研究費の応募・受入等の状況・エフォート

■ 本研究開発課題の研究開発代表者の応募時点における、（1）応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、（3）その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

## （1）応募中の研究費（令和６年９月２４日時点）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割  （代表・分担の別) | 令和６年度の研究経費（直接経費）  [期間全体の額]  （千円） | エフォート  (%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】  申請者本人への配分予定額（直接経費）  （R6～R10） | ○○と△△の相関に関  する実験的研究  （○○○○） | 代表 | 10,000  [50,000] | 20 | （総額　100,000千円）\*  研究開発課題全体（直接経費）の総額  例）（10,000＋10,000（分担者））×5年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R6～R8・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）  研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額） | 代表 | 3,000  [9,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　9,000千円）\* |
| 令和６年度○○財団研究助成金（R6・○○財団） | 上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載  ●●と□□の研究  （○○○○） | 分担 | 1,000  [1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　1,000千円）\* |

## （2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和６年９月２４日時点）

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名  （研究開発代表者氏名） | 役割  （代表・分担の別) | 令和６年度の研究経費（直接経費）  [期間全体の額]  （千円） | エフォート  (%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| ○○財団研究助成金（R5～8・○○財団 | ●●と□□の研究  （○○○○） | 代表 | 1,000  [4,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　20,000千円）\* |
| ○○事業（R3～R7・AMED） | ●●と□□の研究  （○○○○） | 分担 | 1,000  [5,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。  （総額　10,000千円）\* |

　\*　（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## （3）その他の活動

エフォート：　50　％

# １０．これまでに受けた研究費とその成果等

■ 本欄には、研究開発代表者及び研究開発分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■ AMED事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■ それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の氏名：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

## （1）【AMED事業】

研究開発代表者：○○　○○

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

研究開発分担者：□□　□□

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

## （2）【それ以外の研究費】

研究開発代表者：○○　○○

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

研究開発分担者：□□　□□

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

# １１.　 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

■ 以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED事業の研究開発課題において記載を求めるものです。別途、公募要領に特記事項等として条件が付されていない限りは、採否に影響ありません。なお、記載内容は今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

1. **医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）について**

詳しくは公募要領12.1.2「医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI）の推進」をご参照ください。AMED研究への患者・市民参画：<https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html>

患者・市民参画の取組：

本研究開発課題にて行う○○の臨床試験のプロトコルを作成するにあたっては、○○の患者団体との対話を通じて、○○に関する患者や家族側の意見を参考にする。

1. **キーワード（疾患名以外、10単語以内）**

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例：研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位（臓器、組織、細胞等）、対象集団（妊産婦、AYA世代など）、実験動物等、の具体名)

1.△△計測　　2.○○合成阻害剤　　3.　．．．．．．

1. **対象疾患（10個以内）**

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を10個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

1.△△感染症　　2.○○病　　3.□□症候群　．．．．．．

# １２．【若手育成枠】公募対象者チェック欄

研究開発代表者：○○　○○

|  |  |
| --- | --- |
| ✓ | 満43歳未満の者（昭和56年4月2日以降に生まれた者） |
|  | 上記以外で、博士号取得後10年未満の者（博士号取得日：○年○月○日） |
|  | 出産・育児により研究に専念できない期間があった場合（育児休業等の期間：○○ヶ月） |
|  | 介護により研究に専念できない期間があった場合（介護休業等の期間：○○ヶ月） |

若手育成枠に応募の研究開発代表者および分担開発研究者は上記表の当てはまるものに☑を入れてください。なお、上記は令和6年4月1日時点におけるものとしてください。

* なお、採択後には必要に応じて、出産・育児又は介護の事実及び研究に専念できない期間があったことを証明する関係書類を提出していただく場合があります。
* 応募条件

・令和6年4月１日時点において、①年齢が満43歳未満の者（昭和56年4月2日以降に生まれた者）②又は博士号取得後10年未満のいずれか高い方を対象とします。

・③出産・育児又は介護により研究に専念できない期間があった場合は、①あるいは②に当該期間分（最長2年。延長の単位は月単位とし1月未満の日数は切り上げます（例：研究に専念できない期間が17ヶ月14日の場合は18ヶ月の延長となります。））加算することができます。